

来年度の 小中一貫教育の充実に向けて！

浅口市小中一貫教育推進委員会

3月8日(火)、標記の会議が開催され、今年度の一貫教育の取組の報告や、令和5年度からの一貫教育校の指定に向けて協議しました。

委員からは、「故郷のことを学んで、力が伸ばせるカリキュラム作りをさらに進めてほしい。」「一貫教育の取組は年々充実してきている。さらに広報を充実させてほしい。」「学校が、地域と子どもを繋いでくれ、地域が元気になっている。」等の意見がありました。

最後に岡山大学大学院の熊谷教授から、次の3点について指導を受けました。

- 1 各学校でカリキュラム(教科・領域の指導計画)の整備は進んでいる。これを学校運営協議会の場でもしっかり説明し、指導の可視化を進めて行くこと。
- 2 学校の取組は、保護者の理解が鍵である。保護者を巻き込んでいく工夫をすること。
- 3 GIGA スクール構想の実践を進める中で、ICT 活用の光と影にも目を向けるようにすること。

皆さんからいただいたご意見をもとに、来年度も小中一貫教育を推進させていただきます。

会議で指導・講話をする熊谷教授[R4.3.8(火)]



各地区の取組を説明する
3人の学運協の会長



キラリ5【家庭・地域と協働のキラリ】

外国語担当の先生方も振り返り！

3月15日(火)、今年度3回目の「キラリ英語教育推進協議会」が開催され、市内の小・中学校の担当教員が、今年度の活動を振り返り、来年度の取組について話し合いました。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、11月末に7人のALTが配置できる状況になりました。その間、各学校ともコロナ対策のために、公開授業や授業参観も制限されましたが、何とかチームワークで対応していました。

今回は、今年度の反省を令和4年度の各中学校区の指導に活かすという視点で、熱心に協議して貴重な研修の時間になりました。

今年度の外国語指導を振り返る小・中学校の
担当教員[R4.3.15(火)]



キラリ4【教職員の協働のキラリ】